

経営協議会の機構外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取り組み事例

年度	具体的意見・指摘等	改善状況（改善取組事例）
18	<p>① 機構長の給与が他機関の長と比べて低く設定されており、職責等を考慮すると改善する必要がある。</p> <p>② 研究成果の公表方法について、J-PARC計画のような建設・運営・運転等に係る巨額の資金確保のために、その存在理由・意義を広く且つわかりやすく一般の人に示すための努力を行っていく必要がある。</p>	<p>① 機構長の職責並びに他の大学共同利用機関法人機構長報酬等を考慮して、役員報酬規程について「7号給（922,000円）から9号給（1,066,000円）までの範囲内で決定することができる。」との改正を行った。</p> <p>② KEKの事業の意義・有用性等について社会への理解を求めるため次の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年7月にJ-PARCに関するホームページの開設を行い、現在まで、建設計画、研究の進捗にあわせ、内容の見直し等充実を図っている。 ・常設展示ホール「KEKコミュニケーションプラザ」において、平成19年1月から休日公開を開始し、休日における見学体制を整えた。 ・ホームページ上に研究活動に関連した研究の最前線の状況等を紹介しているニュース（News@KEK）記事及びプレスリリースをまとめた冊子「News@KEK」を新たに創刊し、機構外でのイベント等において配布を行った。 ・高校生を対象にした「ウインター・サイエンスキャンプ（JST主催）」への参加や、「素粒子サイエンスキャンプ・Belle Plus（ベル・プリュス）（研究者情報発信活

		<p>動推進モデル事業（JST）」を奈良女子大学と共催することにより、機構の研究に関連した基礎的実験を実施することにより、機構の研究内容の紹介や、科学一般の理解増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第18回全国生涯学習フェスティバル（まなびピアいばらき2006）に参加し、機構の研究等について紹介を行った。 ・未来科学館で行われたイベント「展示の前で研究者に会おう」に講師を派遣し、研究成果等の紹介を行った。
19	<p>学生の理系離れが問題となっているが、KEKでも教育に対して様々な提言を行うことや、サマーチャレンジ等の高校生、大学生に対する講習などKEKの施設を十分に生かした取り組みが求められているのではないか。</p>	<p>これまでは、中学・高校等の学校側からの要請に基づいて実施してきた中学・高校生等実習受入事業について、平成20年度から、ホームページ上に募集案内を掲載し、公募制とすることにより、これまでよりも幅広く参加を呼びかける取組を開始した。</p>
20	<p>① 研究成果の公表方法について、J-PARC計画のような建設・運営・運転等に係る巨額の資金確保のために、その存在理由・意義を広く且つわかりやすく一般の人に示すための努力を行っていく必要がある。（平成18年度の意見）</p> <p>② 財務諸表の説明において、大学共同利用機関法人特有の事情を明確に示すことができるように、本協議会の資料作成及び説明にあたっては、何らかの工</p>	<p>① J-PARCの実験施設や研究環境に関する広報の一環として、平成20年8月よりJ-PARC実験施設の一般公開を実施している。</p> <p>平成21年も8月に実施をした。</p> <p>② 財務諸表の他、前年度の財務関連情報を、職員や一般社会へ説明するために作成している「財務諸表の解説」を、ポイントを絞るなどにより、より分かり易くしたダ</p>

	<p>夫をすべきである。</p>	<p>イジェスト版を作成し、第16回経営協議会において説明を行った。</p>
<p>21</p>	<p>① 女性研究者の拡大に向け、大学等で物理系に進む女性の割合を増やす工夫が必要である。</p> <p>② 事務職員の仕事のやり方そのものを見直す業務改善、コンサルタントの活用や若手職員からの意見募集を行ってみてはよいのではないか。</p>	<p>① 内閣府男女共同参画局-チャレンジキャンペーン-に協力団体として参加した。</p> <p>教員や研究員の公募にあたり、女性研究者の積極的な応募を促す目的で、「本機構は、男女共同参画を推進しており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。」の文面を加えた公募要領により公募を実施した。</p> <p>科学技術振興調整費「女性研究者支援システム改革」プログラムに応募した。</p> <p>② 平成20年12月に若手職員を中心にした策定「業務改善アクションプラン」を基に、より具体的な実施内容をまとめた「業務改善実施計画」を策定した。</p> <p>「業務改善実施計画」に基づき、外部委託可能な業務について検討を行い、平成22年4月から「建築物、電気設備及び機械設備運転保守管理」業務を外部委託することとした。</p> <p>係長以下の職員による意見交換会や管理局長意見交換会を開催し、職員間の情報交換や現場の意見聴取に取り組んだ。</p>